

## 人間発達文化学類 推薦入試Ⅱ ⑤社会・家庭 資料

次頁の図は、生産から食卓までの食べ物の循環と、生涯にわたる食の営みを示したものである。「食べる」という行為は、地域や社会に支えられて毎日繰り返されながら、私たちの生きる力にもなっている。

食に限らず、社会と家庭生活の仕組みを理解し主体的に行動する力を育むには、社会科（地理歴史科、公民科）や家庭科などの教科の枠にとらわれない教育や、自分で課題を見つけ探求するような教育が必要といわれている。

中学校あるいは高等学校で「自立した生活を営み、社会に主体的に参加する力」を育むためには、どのような教育が必要だと考えるか。図を参考に自分の意見をまとめ、討論しなさい。

# 食育の環

生産から食卓まで  
(食べ物の循環)



生きる力

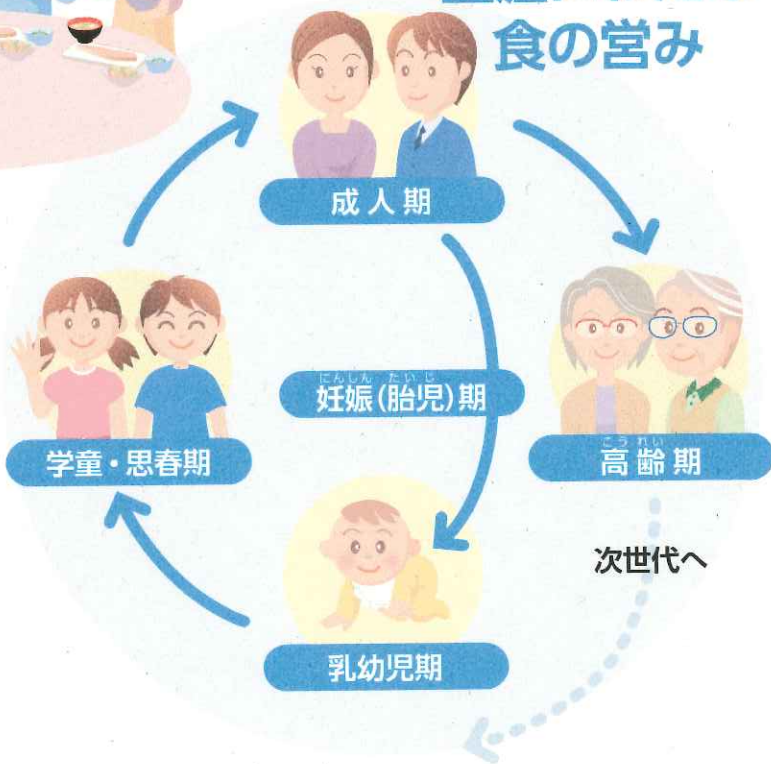


自然  
文化  
社会経済



食べる

生涯にわたる  
食の営み



地域とのつながり  
(生活の場での交流や食の情報)

# 平成 27 年度入学試験 面接「概要とねらい」

(入試情報公開用)

人間発達文化学類 推薦入試Ⅱ 区分(⑤小または社・地・公・家)

： 資料を事前に読ませ、集団で議論させることにより、読解力、表現力、コミュニケーション能力、教職への意欲、社会科・地歴科・公民科・家庭科への関心の高さなどを評価する。